

[] の施設基準に係る届出書添付書類

| | | | | | |
|--|--------------|-----|-----------|-----------|------|
| 当該治療室 の従事者 | 専任医師 | | 日勤名 | 当直名 | その他名 |
| | 当該病院に勤務する麻酔医 | | 名 | | |
| | 看護師 | | 日勤名 | 準夜勤名 | その他名 |
| 当該治療室 の概要 | 病床面積 | 病床数 | 1床当たりの床面積 | 1日平均取扱患者数 | |
| | 平方メートル | 床 | 平方メートル | 名 | |
| バイオクリーンルームの概要、機器の名称・形式、空気清浄度等 | | | | | |
| 当該治療室に常時設置されている装置・器具の名称・台数等 (*は当該病院内に設置されているもの) | | | | | |
| 救急蘇生装置 | | | | | |
| 除細動器 | | | | | |
| ペースメーカー | | | | | |
| 心電計 | | | | | |
| ポータブルエックス線撮影装置 | | | | | |
| 呼吸循環監視装置 | | | | | |
| 人工呼吸装置 | | | | | |
| 経皮的酸素分圧監視装置又は経皮的動脈血酸素飽和度測定装置 | | | | | |
| 酸素濃度測定装置 | | | | | |
| 光線療法器 | | | | | |
| 微量輸液装置 | | | | | |
| 超音波診断装置 | | | | | |
| 心電図モニター装置 | | | | | |
| * 自家発電装置 | | | | | |
| * 電解質定量検査装置 | | | | | |
| * 血液ガス分析装置 | | | | | |
| 救命救急センターに係る事項(該当するものに○をすること。複数該当の場合はいずれにも○をすること。) | | | | | |
| 1 高度救命救急センターである。 | | | | | |
| 2 充実段階がAである。 | | | | | |
| 3 充実段階がBである。 | | | | | |
| 4 新規開設のため、充実度評価を受けていない。 | | | | | |
| 救命救急入院料3、救命救急入院料4及び特定集中治療室管理料2に係る事項(施設基準に該当する場合○をすること。) | | | | | |
| () 当該保険医療機関内に、当該保険医療機関に広範囲熱傷特定集中治療を担当する常勤の医師が勤務している。 (再掲) 広範囲熱傷特定集中治療を担当する常勤の医師数 名 | | | | | |
| 小児加算に係る事項(小児加算の施設基準に該当する場合○をすること。) | | | | | |
| () 当該保険医療機関内に、専任の小児科医が常時配置されている。(再掲) 専任の小児科医師数 名 | | | | | |
| 特定集中治療室管理料1又は2に係る事項(施設基準に該当する場合○をすること。) | | | | | |
| () 特定集中治療の経験を5年以上有する医師を2名以上含むこと。(再掲) 経験を有する医師数 名 | | | | | |
| () 当該保険医療機関内に、専任の臨床工学技士が常時配置されている。専任の臨床工学技士数 名 | | | | | |

[記載上の注意]

- [] 内には、届出事項の名称(救命救急入院料1、救命救急入院料2、救命救急入院料3、救命救急入院料4、特定集中治療室管理料1、特定集中治療室管理料2、特定集中治療室管理料3又は特定集中治療室管理料4のいずれか)を記入すること。
- 当該施設基準に係る項目については必ず記載すること。
- 救命救急入院料2又は救命救急入院料4の届出を行う場合においては、特定集中治療に係る部分について括弧書きで再掲すること。

- 4 救命救急センター又は当該治療室に勤務する従事者並びに当該病院に勤務する臨床検査技師、衛生検査技師、診療放射線技師及びエックス線技師について、様式 20 を添付するとともに届出前 1 か月の各治療室の勤務計画表（勤務実績）及び日々の入院患者数等により、看護師の配置状況が分かる書類を添付すること。また、特定集中治療室管理料 1 又は 2 の届出を行う場合は、臨床工学技士の勤務計画表（勤務実績）により臨床工学技士の配置状況が分かる書類を添付すること。

なお、広範囲熱傷特定集中治療又は小児加算の届出を行う場合は、様式 20 の備考欄へそれぞれ「熱傷」又「小児科医」、特定集中治療室管理料 1 又は 2 の届出を行う場合は、様式 20 の備考欄へ「5 年」と記載すること。

- 5 当該届出に係る治療室又は救命救急センターの配置図及び平面図（面積等がわかるもの。）を添付すること。